

令和3年社会生活基本調査

－ 生活時間に関する結果 －

結果の概要（岩手県版）

令和5年1月

岩手県ふるさと振興部

目 次

調査の概要	1
利用上の主な用語	1
利用上の注意	1
結果の概要	
1 1日の生活時間の配分	2
2 属性別にみた生活時間	6
3 スマートフォン・パソコンなどの使用状況	8
(資料) 令和3年社会生活基本調査結果(全国)	9

調査の概要

社会生活基本調査は、国民の生活時間の配分及び自由時間における主な活動について調査し、仕事や家庭生活に費やされる時間、地域活動等へのかかわりなどの実態を明らかにし、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的とし、昭和51年の第1回調査以来5年ごとに実施している。

令和3年調査は、令和3年10月20日を調査日として、無作為に抽出した約1,600世帯の世帯員約3,600人（10歳以上）を対象として実施した。（全国では、約9万1千世帯、約19万人）

この資料は、総務省が公表した生活時間に関する集計結果から、岩手県に関する部分を概要としてまとめたものである。

利用上の主な用語

- 1次活動……睡眠、食事など生理的に必要な活動
- 2次活動……仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動
- 3次活動……1次活動、2次活動以外で各人が自由に使える時間における活動
- 総平均時間……該当する種類の行動をしなかった人を含む全員の平均
- 行動者平均時間……該当する種類の行動をした人のみについての平均
- 週全体平均……平日、土曜日、日曜日の曜日別結果の平均

利用上の注意

- この結果の概要では、特に断りのない限り、総平均時間の数値を記載している。

結果の概要

1 1日の生活時間の配分

(1) 全体

岩手県に住んでいる10歳以上の人について、行動の種類別に週全体平均（以下「週全体」という。）による1日の生活時間をみると、睡眠時間が8時間、仕事時間が3時間38分、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌の時間が2時間18分などとなっている。（表1-1）

生活時間について、平成28年と比べると、休養・くつろぎの時間は22分の増加と最も増加が大きくなっており、移動（通勤・通学を除く）の時間や交際・付き合いの時間が7分の減少などとなっている。（表1-1）

生活時間について、男女別に平成28年と比べると、男性は休養・くつろぎの時間が18分の増加、仕事が21分の減少などとなっている。女性は休養・くつろぎが26分の増加、交際・付き合いが8分の減少などとなっている。（表1-1）

表1-1 男女、行動の種類別生活時間（平成28年、令和3年） 週全体

（時間. 分）

	総数			男			女		
	平成28年	令和3年	増減	平成28年	令和3年	増減	平成28年	令和3年	増減
1次活動	11.01	11.02	0.01	10.54	10.56	0.02	11.07	11.07	0.00
睡眠	7.54	8.00	0.06	7.58	8.04	0.06	7.51	7.56	0.05
身の回りの用事	1.25	1.22	-0.03	1.16	1.14	-0.02	1.34	1.30	-0.04
食事	1.41	1.40	-0.01	1.40	1.39	-0.01	1.42	1.41	-0.01
2次活動	6.47	6.45	-0.02	6.37	6.23	-0.14	6.56	7.04	0.08
通勤・通学	0.25	0.25	0.00	0.30	0.29	-0.01	0.21	0.20	-0.01
仕事	3.43	3.38	-0.05	4.41	4.20	-0.21	2.49	2.59	0.10
学業	0.38	0.40	0.02	0.38	0.39	0.01	0.38	0.41	0.03
家事	1.23	1.25	0.02	0.24	0.29	0.05	2.17	2.17	0.00
介護・看護	0.03	0.03	0.00	0.02	0.02	0.00	0.05	0.03	-0.02
育児	0.11	0.10	-0.01	0.05	0.05	0.00	0.17	0.14	-0.03
買い物	0.24	0.24	0.00	0.17	0.19	0.02	0.30	0.30	0.00
3次活動	6.12	6.13	0.01	6.29	6.39	0.10	5.57	5.48	-0.09
移動（通勤・通学を除く）	0.28	0.21	-0.07	0.29	0.23	-0.06	0.27	0.20	-0.07
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.11	2.18	0.07	2.13	2.29	0.16	2.10	2.07	-0.03
休養・くつろぎ	1.38	2.00	0.22	1.44	2.02	0.18	1.33	1.59	0.26
学習・自己啓発・訓練（学業以外）	0.11	0.08	-0.03	0.11	0.09	-0.02	0.12	0.08	-0.04
趣味・娯楽	0.45	0.40	-0.05	0.54	0.49	-0.05	0.36	0.32	-0.04
スポーツ	0.11	0.11	0.00	0.14	0.15	0.01	0.08	0.08	0.00
ボランティア活動・社会参加活動	0.05	0.02	-0.03	0.05	0.03	-0.02	0.05	0.02	-0.03
交際・付き合い	0.14	0.07	-0.07	0.10	0.06	-0.04	0.17	0.09	-0.08
受診・療養	0.07	0.06	-0.01	0.06	0.05	-0.01	0.07	0.07	0.00
その他	0.23	0.17	-0.06	0.23	0.18	-0.05	0.23	0.16	-0.07

(2) 家事関連時間

家事関連時間（「家事」、「介護・看護」、「育児」及び「買い物」）を男女別に平成28年と比べると、男性は55分で7分の増加、女性は3時間4分で5分の減少となっている。（図1-1）

過去20年間の家事関連時間の推移をみると、平成13年に比べ、男性は27分の増加、女性は17分の減少となっている。男女の差は2時間9分と平成13年の2時間53分と比べると44分縮小しているが、依然として差は大きい。（図1-1）

図1-1 男女別家事関連時間の推移（平成13年～令和3年） 週全体

